



令和4年 (2022年) 9月20日(火)

No. 15740 1部377円(税込み)

発行所

一般財団法人 経済産業調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061

[電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3535-5347

近畿支部 〒540-0012

大阪市中央区谷町1-7-4

(MF天満橋ビル8階) [電話] 06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト <https://www.chosakai.or.jp/>

特許ニュースは

- 知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術予測等の専門情報紙です。

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円 (税込み・配送料実費)

本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

目次

☆主要判決全文紹介 [知財高裁] [上]…………… (1)

主要判決全文紹介

〈知的財産高等裁判所〉

審決取消請求事件

〔「レーザ加工装置」事件-明細書中の図面から溝の不存在を看取り、除くクレームの訂正が認められた。引用発明は溝が必須であるから、阻害事由があるとして進歩性○。〕 [上] (全2回)

—令和3年(行ケ)第10111号、令和4年6月22日判決言渡(菅野裁判長)—

【本判決の要旨、若干の考察】

- 1. 特許請求の範囲(訂正後の請求項1、下線部「シリコン単結晶構造部分に前記切断予定ラインに沿った溝が形成されていない」が訂正により追記された構成要件。相違点2)

ウェハ状の加工対象物の内部に、切断の起点となる改質領域を形成するレーザ加工装置であって、前記加工対象物が載置される載置台と、パルス幅が1μs以下のパルスレーザ光を出射するレーザ光源と、前記載置台に載置された前記加工対象物の内部に、前記レーザ光源から出射されたパルスレーザ光を集光し、1パルスのパルスレーザ光の照射により、そのパルスレーザ光の集光点の位置で改質

M&M 三好内外国特許事務所

MIYOSHI & MIYOSHI

情報社会の魁となるスマート知財を開発します

東京 虎ノ門

京都

所員数

約180名

在籍弁理士

47名 www.miyoshipat.co.jp

会長

弁理士 三好 秀和

副会長

知的財産フロンティア研究所 所長

弁理士 高橋 俊一

所長 兼 CEO

弁理士 伊藤 正和

上席副所長 兼 COO

弁理士 高松 俊雄

上席副所長

知的財産戦略研究所 理事長

弁理士 澤井 敬史

弁理士 原 裕子

弁理士 廣瀬 文雄

副所長

弁理士 橋本 浩幸

弁理士 工藤 理恵

弁理士 森 太一

弁理士 西澤 一生

上席所長代理

弁理士 松本 隆芳

弁理士 大淵 一志

所長代理

弁理士 河原 正子

弁理士 渡邊 美子

弁理士 須永 浩子

弁理士 木村 達哉

常勤相談役

弁理士 豊岡 静男

特別相談役

弁理士 寺山 啓進

義理士 桜井 隆

弁理士 細川 寛

弁理士 堀 雅

弁理士 池田 清志

(中小企業診断士)

義理士 松本 太郎

弁理士 大森 拓

弁理士 山本 光紀

弁理士 加藤 澄恵

弁理士 高島 信彦

弁理士 安藤 直行

弁理士 洞井 美穂

弁理士 魚路 恵里子

弁理士 山ノ下 勝広

弁理士 安立 卓司

義理士 安原 二良

(京都事務所 室長代理)

弁理士 山中 裕子

弁理士 橋元 成央

弁理士 栗原 康浩

弁理士 鈴木 吉治

弁理士 山本 哲朗

弁理士 田中 敦

弁理士 日野 光章

弁理士 大熊 恵美

顧問

弁理士 松永 宣行

弁理士 鹿又 弘子

弁理士 大坂 雅浩

弁理士 辻 徹二

顧問

弁理士 ババット・ヴィニット

中国弁理士 鐘 晶

(Zhong Jing)

米國弁理士 吉田 正子

知的財産戦略研究所 所長

顧問

義理士 棚橋 祐治